

# 高校生未来会議



## 2025

# ダイジェスト

参加チーム 7校 33名

串本古座高等学校チーム

桐蔭高等学校チーム

熊野高等学校チーム

星林高等学校チーム

向陽高等学校チーム

和歌山信愛高等学校チーム

りら創造芸術高等学校チーム



→ 閲覧

閲覧 後 ←



和歌山県こども未来課

高校生未来会議は、参加校ごとに生徒がチームをつくり、ごとにも関する県の施策について議論し、新たな政策案を県へ提案する2025年初の試み。6月、高校等を通じ応募チラシを配布しました。応募総数は現役高校生52名。抽選の結果7校33名の参加者が決定しました。33名は、

- ① **子どもや若者の権利の保障**
  - ② **「青少年の家」のあり方**
  - ③ **高校生の自転車交通マナー**
  - ④ **プレコンセプションケア**
- から2つの議題を選び、第1回会議で意気込みを語りました。

住んでいる環境や育った場所がそれぞれ違う参加者が集まるので、たくさんの考え方や意見があると思っています。この機会を活かし、自分たちの考え方や価値観が大きく変容する話し合いができればいいなと思っています。

他の高校とこうやっていっぱい集まって和歌山の未来について考えるのは滅多にない機会だと思うので、こういう場でたくさんの知見を広げて、お互いによかった、お互いに知識が広がったと思えるような会議にしていきたいと考えております。

「子どもや若者の権利の保障」や「青少年の家のあり方」については、ほくたち子どもには直接的に深く関係しており、現役の高校生が考えていくというのは非常に興味深く、ほくたちの成長にもつながるような貴重な機会になるんじゃないかな、と思いました。

### 自己紹介とオリエンテーション

## 第1回会議 (オンライン)



みんな意識レベル高っ！

入学後紀北青少年の家に行って、集団で行動することの大切さや誰かの助けのおかげで私たちが生活できているってことが実感できたので、それを未来に持ち越していきたいと思い選びました。

プレコンセプションケアについては、看護科として授業で学んだことを皆さんと共有し、自分たちの心身の健康を守っていけるようにしたいと考えています。全員が安心して参加できる会議になることを期待しています。

和歌山県の一学校としても、一人間としても、子どもの権利や、子どもも大人も関係なく一人一人が幸せになれるような、そんな意見を真剣にみんなで見聞かす時間をもちたいと思っています。

僕らの声っていうのは、大人よりも届きにくいところがあると思うんです。でも、その機会を僕らに与えてくれる、この機会を使って、僕らが選んだ「子どもや若者の権利」これをもっと広く主張していければなと思っています。



私たちが話し合った意見、みんなに伝えたい！

土台を3つに分ければいいんじゃない？ そうやったら共通点が見えてくるんじゃないかな？

どんどん緊張が解れてみんながこれも言いたい！ってなった瞬間！たのしかったー！

私たちの意見、まとめてみんなに届けよう！

### 議論、ppt資料作成と中間発表

## 第2回会議 (1泊2日合宿)



ええ感じのパソコンの作り方を教えて気分アザアザ！

この課題を解決するにはどうすればええかな？

役割分担で効率よく！より高校生らしい意見を追究！



**政策案① 先生に対して**  
「先生と話す会」とは？

- 生徒が先生に対して「なぜこの校則があるのか」などを質問できる場
- 先生は淡々と質問に対する答えを出す。
- 行うのは「話し合い」であり、議論ではない。

**学校内に「子ども施策サポーター」設置**

- ・「子どもの声を聴く場」を設ける

廊下や教室に「意見ボード」を設置  
子どもが自由に付箋でアイデアや意見を書いて貼れる  
見られるのが苦手な子は…  
保健室などに匿名の意見ボックス



なぜ！  
こういった問題を解決するために

- 1. スクールカウンセラーを増員する
- 2. 普段からのコミュニケーションを欠かさず信頼関係を築く
- 3. 家族とも色んな話ができるようにする
- また、LINEを活用した気楽に相談出来たりするサイトを普及する！

改善点	効果
建て替え	見た目、設備がよくなり、清潔感
バリアフリー化	たくさんの事情を持つ人にも来てもらえる
洋式	足腰の悪い人でも利用できる
ごはん	特産品を取り入れることでそこでしか味わえない、特別感を持たせられる

**2. これからの青少年の家**  
**改善案**

- 青少年に限らず、多様な人々を受け入れる
- 主要駅からシャトルバスを出す
- 複数の学校を集めて交流する
- 夏の天体観測会など季節ごとのイベントをもちょう
- 県外からの遠泊ツアーを組み、自然を感じてもらおう
- 地域の特産品を提供、販売し、地域のことを幅広く知ってもらおう

### ppt資料に基づく政策提案発表

## 第3回会議 (オンライン)



潜在的にいる「本当は意見を言いたいと思っている人」が意見を言える環境が大事ですよ。

行政でも考えていくので、みなさんや学校でも考えてもらえたらと思います。

**新施策**  
**メリット**

- 作ったものをすぐに実用化することが出来る
- OO教室というフォーマットは他の物にも応用できる。
- 新たに約り需要も満たすことが出来る

**2. 自転車安全利用動画コンテストで各校のSNS投稿を義務化**

- ・和歌山県警が主催する動画コンテストでの動画を受賞作品のみならず、全ての作品を各校のSNSで公開する事を義務化

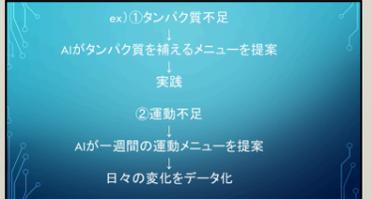
1、例としてお祭りやマラソン大会などでワークショップのブースを作りヘルメットをステッカーでデコレーションさせると同時に啓発も行うことができる！  
自分好みにデコレーションすることでさらに愛着が湧くと思うからです  
もし可能なら……  
アパレルブランドなどと共同開発した帽子に似せたヘルメットを開発するヘルメットは夏仕様で主流だがつけ外してもこもこな冬仕様などのカスタムができるようにしてもいい

**1. 漫画やイラスト、舞台演劇など、芸術を通して広める**  
みんなの将来のライフプランに合わせて異化。  
ポップな導入や具体的な例があると、親しみやすさがある

漫画 イラスト 広告演劇を作る、がついている作者とのコラボ作品など  
舞台演劇 授業の一環として学生に依頼して制作してもらったりすることで演劇の魅惑になる  
舞台の外にはその漫画やイラストの要素を、プレコンセプションの会議などに取り入れ

**◎SNSでの発信**

- ・人気インフルエンサー・アーティストとコラボして「#未来のからだキャンペーン」
- ・TikTokやインスタで、「将来の赤ちゃんのためにできること」ショート動画配信
- ・プレコン診断クイズ「あなたの生活習慣は未来の妊娠にどう影響する？」



①へのフィードバック(抜粋)  
2026高校生未来会議の実施に向け動き始めます。小中学生も参加対象とし県事業へ政策提案を行っていただくのは「年齢や発達段階を考慮し難しい」と判断しました。意見ボードの設置、「先生と話す会」等高校生ならではの発案を研修会等で情報提供します。また、子どもの意見を少しでも反映する手段として希望する議題の意見をいただき、次回議題選定時の参考資料とすることを検討します。

②へのフィードバック(抜粋)  
今後、人口減少や少子化が進行していくことを考えると、子どもから高齢者まで幅広い年齢層が様々な目的で利用することができ、そこで多世代交流や地域共創の機会を生み出し、人と人をつなげる役割を果たしていくことが求められます。利用者のニーズに応じた魅力的な体験プログラムの整備や、地元でしか味わえない特別感を伝えることができれば、利用者数の増加につながるかもしれません。老朽化した施設すべての改修は困難であるため、運営事業者と優先順位について協議を進めます。

### 政策提案発表への県からのフィードバック

## 第4回会議 (オンライン)

③へのフィードバック(抜粋)  
自転車安全利用動画コンテストは募集範囲、優秀作品の表彰や紹介方法、交通安全啓発での活用の可能性を、SNS投稿は著作権や個人情報への配慮等を関係機関と確認し検討していきます。ヘルメットのデコレーションワークショップは、強度や安全性に影響がないかや視界が悪くならないか、またヘルメットの役割や正しい被り方を学ぶ時間の設定等安全性を一番に考えながら検討します。

④へのフィードバック(抜粋)  
将来を見越し若いうちから健康づくりの大事さを知っていただきたいため、アプリの開発よりもまずは普及啓発に取り組んでいきます。インフルエンサーによる情報発信の提案について子ども家庭庁が行っています。できれば高校生の皆さんが友だち同士で発信できるような、地元で発信できるような方法がないか等を考えていきたいと思います。

# 各チームリーダーのフィードバックとメッセージ

私たちは学校行事などが多く参加できない会議もありましたが、そんな中でも真剣に取り組を進めてくださり支えくださった関係者の方々にすごく感謝しています。そのおかげもあり、様々な高校生の方の意見を聞くとともに、私たち自身が持っていた考えを素直に表現することができたと感じています。こどもから大人への意見をこうしてしっかりと伝えていい場は貴重なので、ぜひ皆さんも参加して欲しいと感じています。(ミウミ)

私たちはこどもです。大人から見れば私たちはまだまだ現実を知らないでしょう。しかし現実をまだ知らないということは、それだけ無茶な可能性がいっぱいあるということだと思います。そんな可能性を活かせる未来会議は楽しかったです！普段関わることのない他校の方たちとの交流や、まだ入学してすぐの友だちとテーマについて議論する、これらは確かに私たちの仲を深める思い出となりました。無茶な可能性を無茶な可能性で終わらせないでください。私たちは希望です。(ザッキー)

まず今回の会議に参加して一番よかったと思っているのは、普段そんなに関わらないような違う学年の他校の生徒と意見交流や討論ができたところです。私たちは生徒会内での参加で普段他校と交流することがないのでいい機会となりました。また私たちのチームは、意見を言う人、まとめる人などの役割をそれぞれが自然に担っていてスムーズにまとめることができたところがよかったと思います。和歌山県で今問題になっている物事、それに対する解決策を自分たちで考えて提案するということが、自分たちが今後住みやすい世の中を作っていける第一歩であり、この会議でこれから高校生が考える、住みやすい和歌山を作っていってほしいです！(ソウマ)

高校生未来会議に参加し、時には意見をぶつけ合いながらこれからの未来について話し合うことは、私たちに良い成長の機会を与えてくれました。さて、2026年にもこの会議は開催されることでしょうか。和歌山県こども施策審議会のこども代表委員は「私たちこどもの柔軟な発想が、こどもまんなか社会の実現には欠かせない。」と仰られていました。つまり、あなたの意見が未来につながるんです！是非あなたの意見で未来を創りましょう！(ヤマソウ)

私たちは看護科生として参加させていただきました。妊娠、出産についての知識は私たちが1番持っている自信があったので今回参加させていただくことができ良かったです！会議の準備は大変なことや時間がかかってしまうこともありましたが、県内の高校生の代表として話し合っていると、自分の行動が誇らしく、今後にも繋がりますように毎回やる気が出ました。これを読んだあなたも是非友だちと協力して参加してみてください！(リン)

高校生未来会議で県政を知り、他校生との交流で視野が広がりました。施策が実現せず理想と現実のギャップに悩む悔しさもありましたが、仲間と真剣に取り組んだ時間は宝物です。皆さんの斬新な視点こそ、県政を変える力。特に紀南の皆さん、県庁との地理的距離を感じるかもしれませんが、あなたの視点が必要です。地域の暮らしをより良くするため、あなたも高校生未来会議に参加してみませんか？(ユウト)

第2回会議は私が思っていたよりもずっと満足度の高いものでした。チーム内議論では、最初に個人で考える時間があったりファシリテーターさんが上手く話を回してくれたりしたおかげで、意見もたくさん出て充実した議論になったと思います。他校の人と一緒にご飯を食べたり、部屋に行ってお菓子を食べてたりして仲良くなり、人脈を増やせたのが嬉しかったです。(タクヤ)

# 2026

# あなたが意見表明を！